

箕面市立病院指定管理者候補者の提案概要

※本紙は、指定管理者候補者からの提案内容をまとめたものです。今後、基本協定書の締結に向けてこれらの内容を協議していきます。

1. 指定管理者候補者

医療法人 協和会

2. 指定管理期間

令和7年4月1日から開始し、新市立病院開院後20年間

3. 新市立病院の病床数

362床（急性期326床、回復期リハビリテーション36床）

※吹田市にある協和会病院との再編統合

4. 新市立病院の整備費用（病院事業債（特別分）の元利償還金）に係る指定管理者の負担割合

42.5%（市は57.5%負担。国からの交付税措置あり）

5. その他提案の概要

（1）運営方針ほか、基本構想を実現するための具体的な方策について

- ・がん治療強化の観点から大阪重粒子線センターと連携
- ・市民健康講座、小中学校への出前授業、地域医療講座の開催
- ・救急医療の充実強化（救急専門医、救急救命士の配置を予定）

（2）事業・収支計画について

- ・指定管理開始後5年間は赤字、6年目から黒字転換

（3）診療日・診療時間、診療科等について

- ・診療受付時間について現行より30分延長
- ・分娩の継続については、大学医局と相談の上検討
- ・腎臓内科の入院及び外来診療の実施については、近隣医療機関の状況を踏まえて検討
- ・呼吸器内科、放射線治療科に加え、緩和ケア内科、感染症内科を新設
- ・救急科に加え、脳神経外科の強化

(4) 医師・看護師等の確保策について

- ・大阪大学からの医師派遣実績があり、今後も連携を強化
- ・看護師、薬剤師の確保策あり
- ・法人内での適正な人材配置